

14 五十人山の植物



ギンリヨウソウ（イチヤクソウ科）
暗い林下にはえる腐生植物で、その姿からユウレイタケともよばれる。



頂上の鞍部は風が強いために高木は生育できず、低木林となっている。

しまった例もある。

道はまもなく雑木林の中に入る。コナラの中にカスミザクラ、チョウジザクラ、ウワミズザクラなどのサクラ類、オオモミジ、イタヤカエデ、ミツデカエデ、メグスリノキなどのカエデ科の植物、ヤマハンノキ、クマシデなどのカバノキ科の植物がところ狭しと枝を広げ、ハクウンボクは純白の花を房状につける。このあたりは典型的な二次林となっており、標高が高くなるにつれてコナラからミズナラに代わるのに気づく。また、イヌブナもところどころに見られ、このあたりはかつて阿武隈山地を代表するイヌブナ林であったことが推察される。林内の湿ったところにはヤグルマソウ、ヤマモミジガサ、キツ



レンゲツツジ（ツツジ科）